

## 9月再開・再会

校長 菊池 幸博

8月23日(月)の教育長通知を受けまして、8月27日(金)を学校再開予定としておりましたが、9月1日(水)再開となってしまいました。新型コロナウイルス感染(特にデルタ株)の勢いがなかなか止まらず、市内の小中特別支援学校において、児童・生徒、そして教職員への感染が日々報告されているところでございます。以前にも申し上げましたが、憎むべきは『新型コロナウイルス』であり、感染した方への偏見や差別は決して許されることではありません。また、医療従事関係の方々、あるいは感染拡大を防止にご尽力いただいている方々には、つきなみではありますが、深い感謝の思いしかありません。どうか、各ご家庭におかれましても引き続き感染防止に努めていただきますようお願いいたします。



新型コロナウイルスの感染という暗いニュースが多い中ではありましたが、この夏は、TOKYO 2020でのオリンピックの方々、パラリンピアンの方々の大活躍と大奮闘にテレビの前で感動や感激を味わうことができました。これまでの練習の成果と1年間待った思いをそれぞれの選手が、自己の競技に余すところなくぶつけるその姿は、メダルの色や、メダルが獲れた・獲れなかったにかかわらず、人々の心を揺さぶるものだったにちがいません。全力で目標に向けて突き進む姿は、スポーツの世界に限らず、とても美しいと言えるのではないでしょうか。

さて、夏休みが終わりました。時差・分散登校とはいえ、学校再開となります。今年の夏休みは2週間という短いものでしたが、今年のこの長い休みの間、子どもたちは大きな制限の中で、どのような体験・経験を積むことができたのでしょうか。もちろん「自粛」が叫ばれる中、一昨年までのように様々な活動はできなかったとは思いますが。しかしながらこうした状況下でも子どもたちは日頃できないことを、見たり・聞いたり・触れてみたりということをしてきたのではないのでしょうか。様々な体験・経験を生かしながら、夏休み明けに再び自己の目標を見直し、そこに向かって1日1日を大切に過ごしてほしいと願っています。目標に近づいたときあるいは達成できたとき、きっとそれまでの道程を振り返って、自分の成長を実感できることと思います。

オリンピック・パラリンピアンの方々の、努力を積み重ねてきた姿を一つのモデルケースとして、釜利アンの子どもたちも一歩一歩進んでほしいと願っています。

